

院内コンサート、健康セミナー、がんセミナー

製鉄記念病院 催し好評

室蘭 「説明分かりやすい」

病気の予防法を解説するセミナーや院内コンサートなど、製鉄記念室蘭病院で開かれる患者や市民向けの催しが好評だ。1992年度に始まった院内コンサートを皮切りに、健康セミナー、がんセミナーを昨年度までに計約90回開催した。病院外での告知や、わかりやすい病気の説明など工夫を凝らしている。

(相沢宏)



3月28日に開かれた製鉄記念室蘭病院の第13回セミナー

3月28日に同病院で開かれた「健康セミナー」。林征志脳神経外科長が約60枚の画像を用いて、脳腫瘍を「脳の中の『できもの』」と例えるなど、脳について解説した。参加者との質疑応答の時間も設け、市内知利別町の無職男性(67)は「かみ砕いた説明で分かりやすかった」と話した。

昨年度、同病院が開催した市民向けの催しは、健康セミナー、がんセミナー、院内コンサートの計11回。いずれも参加は無料で1階のラウンジで開いた。事前に市役所などの市内公共施設にポスターを掲示してPRを図っており、患者や家族、市民らが100人以上参加する場合もある。

本年度もセミナーや院内コンサートを開く。夏に開設するがん診療センターに、市民が利用できる喫茶コーナーや医療関連の書籍を読める図書室を設ける計画。「健康や病気について知識を深めてもらい、予防や治療につなげたい」と話している。